



7月15日(火)

「あたたかい手」

ねえ おかあさん あなたの手は ときに 強く抱きしめてくれた
 ときに やさしく 涙をふいてくれた ときに 怒られ 叩かれ 冷たい手だ
 と感じたけれど どんなときでも あなたの手は あたたかい手
 そんな手を持つ あなたが大好きです



～奈良少年刑務所詩集より～ 悲しく、温かい詩に感動しました。

「僕のお母さんは、今年七回忌です。お母さんは体が弱かった。けれどもお父さんはいつもお母さんを殴っていました。僕、小さかったから、助けてあげられなかった。お母さんが亡くなる前に『つらくなったら、空を見てね。私はそこにいるから』と言ってくれました。それを書きました。」

涙がこぼれた。クラスの子たちが、われ先にと、彼にやさしい言葉をかけた。

劣悪な育ちの背景なくして罪を犯した子は、一人も見ることがない。加害者になる前に、被害者であったような子どもたちだった。虐待を受け、心を閉ざしていた。『口を開ければ殴られる』といった惨烈な環境にあったせいで、言葉が出にくい。そんな子に「安心・安全な場、泣き言を言ってもバカにされたり、傷つけられたりしない場」と感じてもらうことに心を砕くと、心の扉は開いてくれた。彼らの口から、驚くほど優しい言葉があふれ出てきた。再春館製薬 2025 summer「私らしく」 Vol 17より
 妻が「これ何かに使えない？」と渡してくれました。

7月16日(水)

15日(火) 園内研究会を終えて「研修は教員の命」



教員の研修とは、教員が職務を遂行する上で必要な知識やスキルを習得し、資質・能力を向上させるための活動です。教育公務員は、その職務の特殊性から、絶えず研究と修養に努めることが法的に義務付けられており、研修の機会が保障されています。働き方改革が進んでも、研修だけは削ることはできません。

《研修の目的》 ◎教育実践能力の向上:授業力や生徒指導力の向上など、教員が日々行う教育活動に必要な能力を向上させることです。

◎専門性の深化:特定の教科や分野に関する専門知識やスキルを深めることです。◎教員としての使命感の涵養:教員としての自覚を高め、教育に対する情熱を維持することです。

《研修の重要性》 教員研修は、教員が変化の激しい社会に対応し、常に最新の知識やスキルを習得するために不可欠です。また、研修を通じて教員のモチベーションを高め、より良い教育を実践するための原動力となります。

先生方は、前日の夜遅くまで、準備に追われていました。外での水・泥遊びを公開したいと思っていましたが、台風接近で当日の朝まで、どんな活動にするか、決めかねていました。

先生になってもずっと勉強は続きます。来週は、幼稚園・こども園の全国大会、全道大会に参加して勉強してきます。

「子どもには遊ぶ権利」がある

「子どもの成長に遊びが有益であることを大人が正しく理解し、暮らしの中の遊びを温かく見守ってほしい。」という願いから、毎年6月11日を「国際遊びの日」とすることが、昨年国連で採択されました。◆戦争や紛争など、世界的に子どもの遊びが制限されていること、また、日本では、通塾や習い事

で子どもが多忙となっていることや、子どもが公園で遊ぶ声への苦情が増えていることなどが背景にあります。

～子どもは遊びを通じて、自分と向き合い、他者との関わり方を知る。遊びは生きることそのものであり、大人になるための準備として不可欠であることを見つめ直すべきである。～このことから、こども園では、確かな学びにつなげる、豊かな「遊び」を大切にしています。

7月17日(木)

研究会(水・どろ遊び) 活動を振り返って

活動のねらいは、友だちと一緒にいろいろな素材に触れ、好きな遊びを楽しむ。



～〇歳A児の活動記録～

前日の振り返りから、「砂場で、塩ビ管に水を流して遊びたい。」と言っていたので、初めは、担任と一緒に塩ビ管をつなげたり、穴を掘ったりしました。でも、なかなかイメージ通りにはいきませんでした。5歳児さんが遊びの輪の中に入れてくれると、最初は、恥ずかしそうにいましたが、塩ビ管に水を流したり、水たまりに入ったり、楽しそうに遊んでいました。担任がその場を離れても遊んでいましたが、傍にいる方が安心するのか、何度も担任を呼ぶ姿がありました。

泡づくりでは「パンケーキを作る」と言い、ひたすら水と石鹸を混ぜて泡を作り、友だちから泡を分けてもらったりして遊んでいました。後半は、友だちがパーティーをしているのを真似て、友だちと皿やボウルを使ってパーティーごっこを楽しんでいました。

*先生方は、こうやって幼児一人一人の活動の様子を記録しています。

～●～ なぜ、研究会を開催するのか? ～●～

幼児は、夢中になって遊ぶ中で、考える力や工夫する力が自然に身に付きます。先生は、年齢や発達段階に合わせた遊びを提供し、子どもの好奇心や探究心を育みます。そのためには、子どもの様子をしっかりと把握することが大事になります。研究会を開催することで、自分たちでは気づかなかったことなど、多くの関係者からアドバイスを受けることで、指導力を向上させることができます。

コットの効果絶大

コットに替えて2週間、寝汗をかかない、あせもが消えた、熟睡できる、寝起きがさわやか、寝相が良くなった、90台そろえるのに約100万円かかりましたが、いいことづくめです。

乳幼児にとって、睡眠はとても大事です。成長ホルモンは深いノンレム睡眠時に分泌されるため、十分な睡眠をとることが大事です。寝る子は育つ!

乳幼児の睡眠は、年齢や月齢によって適切な時間が異なり、新生児は1日の大半を眠って過ごします。ところが歳を取ると、もっと寝ていたいと思って朝早く目を覚ましてしまいます。大切なのは、睡眠環境と生活リズムを整えることです。



7月18日(水)

7月17日(木) 人権教室 (4・5歳児)

人権教室は、地域の人権擁護委員が幼児施設や学校に出向いて、人権啓発教材(「忍たま乱太郎」ビデオ)を利用するなどして、子どもたちに、いじめ等の人権問題について考える機会をすることによって、相手への思いやりの心や生命の尊さを体得することを目的とした啓発活動です。



人権擁護運動は、人権尊重の理念を普及させ、人権侵害を防止するための活動です。一方、社会を明るくする運動は、地域社会の浄化や犯罪のない明るい社会の実現を目指す活動です。花いっぱい運動は、これらの活動の一環として、地域住民が協力して花を育てることで、美しい景観を作り出すだけでなく、人権意識の向上や地域コミュニティの活性化を図ることを目的としています。

「人権擁護運動」と「社会を明るくする運動」は、連携して「花いっぱい運動」として実施しています。今年、わくわく園が当たりました。ですから、花を枯らすわけにはいかないので、毎日、水をやるなど、お世話をしています。◆花で飾られている街、ゴミの落ちていないきれいな街は、犯罪が少ないそうです。

7月22日(火)

「おはようございます。おねがいします」、「いってらっしゃい」「ありがとうございました」、「おつかれさまでした。」「さようなら、また明日ね!」

これは、こども園の登降園時のあいさつです。

最近はお父さんの送迎も増えました。両親が忙しいときは、おじいちゃん、おばあちゃんもやってきます。登降園時は、こども園には大事な時間帯です。本当は、お母さんと一緒にいたい、親も子どもと一緒にいたいのです。園では楽しそうに遊んでいますが、我慢していることもたくさんあります。先生はそんな気持ちをよく分かっていて、「安心して働いてください」という思いを込めて、「いってらっしゃい」、「おつかれさま」と言っている先生がいます。

「あいさつで人を大切に」を大事にしてきましたが、こんな心のこもったあいさつが保護者と先生方の間で自然に交わされると、清々しい気持ちになります。これが「こども園」です。

7月20日(日)

参議院選挙投票日

選挙結果は別として、毎回、立会人をして思うことがあります。小さい子を連れて投票所に来る親子連れが多くなりました。入場するなり、顔の表情が変わります。「これは、ちょっと雰囲気が違うぞ!」と感じるのでしょう。騒いだり、走り回る子はいません。まあ、そんな子なら、連れてこないでしようが、両親としては、これも経験と考えているのでしょう。大事なことです。

母は晩年、妹が面倒を見ていました。選挙の翌日は祝日だったので実家に帰ると、妹が「選挙と言え、死んだ母さんね。『投票に行くよ!』と言うと『ちょっと待って、着替えるから〜』と言うから、「そのかっこうで、いいしょ!」と言ったら「普段着で行けるわけないしょ!」と言ったんだよ。」

昭和6年生まれ之母にとって、選挙とは特別な意味を持っていたようです。



7月23日(水)

まだまだ暑い日が続きます。熱中症に注意!

乳幼児は、体温調整機能が十分発達していないため、大人よりも熱中症にかかりやすいと言われています。園では、より一層の熱中症予防・対策を行いますが、ご家庭でも注意してください。

1 水分を多めにとる

新陳代謝が活発なため、汗や尿として体から出ていく水分が多く、脱水をおこしやすいので、水分を多く含む食事や、定期的な水分補給を心がける。

2 熱や日差しから守る

自律神経の働きが未熟で、放熱や発汗による体温調整がうまくできないので、熱がこもらない素材や色の薄い衣服を選んだり、帽子をかぶらせること

3 地面の熱に気をつける

背が低いので、大人よりも地面に近く、地表からの熱を受けやすくなります。子どもの高さの方が気温は高いという意識を持つこと

4 室内遊びでも油断しない

室内だから大丈夫と油断しないこと。遊びに夢中になると熱中症のサインに気付くのが遅くなります。

5 周りの大人が気にかける

暑さや体の不調を自分の言葉で十分に訴えることができません。服を脱いだり、水分を補給するタイミングは、周りの大人が気にかける。

…熱中症予防の食べ物…

- ◆くだもの～スイカ、メロン、オレンジ、キウイなど
- ◆野菜～キュウリ、トマト、ナスなど
- ◆その他～キュウリの1本漬、みそ汁、梅干し、豚肉、枝豆
(ビールは、熱中症予防にはなりません。)

◎うなぎもいみたいです。

///水の事故にも注意を///

暑くなると(夏休み)水の事故が増えます。特に幼児は、膝くらいの水深でも溺れることがあります。川や海だけでなくプールでも油断禁物です。子どもから目を離してはいけません。



7月24日(木)

子どもには「遊ぶ権利がある」「ゲーム」はどうか?

現代の子どもの多くが「ゲーム」に夢中です。学研が昨年(東京で)、小1～6年の1200人を対象に行ったインターネット調査で、日常生活で「楽しいと感じるとき」(複数回答)を尋ねると、「テレビゲーム、携帯ゲーム」が36%で最も多く、2位～「友だちとのおしゃべり」(25%)、3位～「外遊び」(22%)でした。

学研の研究所によると、「ゲームが子どもの生活に及ぶ景況を心配する保護者からの相談は、1990年代前半から寄せられている。ただ今は、学校など教育現場にデジタル端末が導入され、ゲームや動画はより身近になっている。付き合い方は、さらに難しくなっている。」と指摘しています。

子どもの養育環境に詳しい臨床心理士で一般社団法人ジェイス代表理事の武田信子さんは、ゲームと子どもの遊ぶ権利について、「子どもが何でどう遊ぶか決める権利は保障したいが、まずは大人がゲームの依存性や健康へ影響を及ぼす可能性などの情報を子どもにきちんと伝えてほしい」と話す。その上で「ゲームとの安全な付き合い方と友だちと考える機会を与えるとよいでしょう」と助言しています。

授業で使うデジタル教材の中には、ゲーム感覚で行うものが開発されていて実際に使用され、効果を上げています。近い将来、ゲームはオリンピック種目になるかもしれません。もうそういう時代です。明日から夏休みです。過ごし方を考えましょう!

夏バテに効果的な食べ物

夏の旬な野菜には、汗をかいたときに必要なカリウムや水分などが豊富に含まれています。また、疲労回復に効果がある良質なたんぱく質は、**豚肉、鶏肉、ウナギ**などに多く含まれています。また、夏バテには、**納豆**が効果的です。納豆にとろろそうめん、**納豆キムチ**もおすすめです。我家は、最近ご飯を食べていません。冷や麦かそば、冷やしラーメン、ラーメンサラダ、冷麺??

子どもたちには、汗をかくくらい遊んだら、「いっぱい水を飲んで、いっぱい寝て、いっぱい食べる、暑さに負けないよう、頑張ってね!」と伝えました。

子どもたちには、汗をかくくらい遊んだら、「いっぱい水を飲んで、いっぱい寝て、いっぱい食べる、暑さに負けないよう、頑張っ

30℃超えは25日(金)まで、土日月火は、30℃以下になりそうです。

*明日から29日まで、園だよりはお休みします。

